

は
が

蒸す作業。お茶になるアケビのつるも、みんなで戸倉峠に行って採りました

「どんな体験もみんな一緒に」

～道谷小学校 お茶作り～

山村留学生の受け入れに取り組んで30年を迎える道谷小学校。今年は、全校児童9名のうち、4名が神戸や姫路、東京からの留学生です。

5月30日（水）には、毎年恒例となっているアケビ茶作りを行いました。雨のために延期されていたお茶作りに加え、田植えやサツマイモの植え付けも行われました。

「お茶作りは、初めてやな」「このお茶、いつ飲めるかな」と蒸し



茶葉をもんで干す作業。田植え指導にいられた老人クラブの皆さんも一緒に

たつるを一生懸命もみました。田植えやイモの植え付け指導には、道谷老人クラブの皆さんが参加。児童も先生も、そして地域の皆さんもみんなで力を合わせた作業になりました。

同校では、運動会や総合学習など様々な場面で地域との関わりがあります。山村留学でも、地域のみなさんが里親となつて多くの留学生を受け入れてきました。これからも、地域の温かい環境で、9人の思いが増えますように。

（波賀支部 草田希望）

ち
くさ

「こんにちは!」と商店街の人に元気な声をかける園児たち



今年は97名のボランティアが参加し
集めたゴミは、軽トラ1台分(100kg)でした

「善意月間」の取り組み

善意の日のパレード&美化活動

宋栗市社協では、6月1日の『善意の日』にちなみ、6月を善意月間としてボランティアを市民に呼びかける取り組みをしています。

6月1日（金）には、千種幼稚園児による啓発パレードを千種町商店街で行いました。

今年は青空のもと、14名の園児たちが元気いっぱい、沿道の人たちに笑顔で「善意の日」を呼びかけました。

また、6月2日（土）には、千種ボランティア連絡会が町内の美化活動を行いました。

「ほんま、年々ゴミが減ったよね」「今日は薄曇りで、ええ運動にもなったよ」と参加者の声。

小さな善意の積み重ねが、町や人の心を豊かにしていきます。善意月間の取り組み、あなたも何かしてみませんか。

（千種支部 小原志のぶ）